



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / ナス、オクラ、ニンニク、蕾菜、米、麦、大豆

高口 徹さん (30歳) (営農地 / みやま市瀬高町)

「親を楽にさせてあげたい」という強い思い

《就農のきっかけ》

父親の疲れ切った姿を見て、 やろうと決意!

高校生の時は、「農業なんてやるわけないよ(笑)」と思っていた高口さん。大学卒業後は会社に就職しました。仕事から帰ってきたある夜、非常に疲れている父親がいました。理由を聞けば、その日ナスの作業がとてつきつかったとのこと。そんな父親の姿を見て、自分が農業を継いで家族の手助けをしようと決意しました。27歳の春でした。

高口さんは就農するにあたり、専業農家のもとで3泊4日の研修を受けました。「農業って、やっぱりきつい!」、これが正直な感想でした。それでも、高口さんの農業を継ごうという決心は変わりませんでした。「親を楽させたい!」、この強い思いは揺らぐことはありませんでした。

《これまでの過程》

ナスづくりは人づくり

就農した当初は右も左も分からず、技術を習得するのに悪戦苦闘していました。少しでも早く技術を習得したかったので、自ら率先してほかのナス農家のハウスへ赴き、技術を習得するよう努力しました。

実際に農業を始めてから、他の生産者や普及指導センターの職員、JA職員といったような、今まであまり関係のなかった人たちとも関わりを持つようになったため、人付き合いの幅が格段に広がったそうです。「もともと私は人と関わるのが好きなので、とても楽しいです。また、家族との関係も変わりました。仕事のことで言い合いになることもありましたが、以前に比べてコミュニケーションをとる機会も増えたため、家族との仲が今まで以上によくなった気がします。」と語ってくれました。



プロフィール

- 家族構成 / 父、母、祖父、本人
- 前職 / 農業関係の営業職
- 営農年数 / 約3年
- 耕作(経営)面積 / 米2ha、麦2ha、大豆1ha、ナス29a、オクラ4a、博多蕾菜3a、ニンニク13a
- 販路 / JA共販、直売所

《これからの展望》

夢、やりがいがあるナス経営

私には将来海外の発展途上国に行き、そこで農業の技術を教えるような活動をする夢があります。そのためには、やはりお金が必要になるため、まずは農業で所得を増やしていけるようになりますね。そのためには、ナス栽培の技術をもっと上達させ、ゆくゆくは雇用を使った大規模経営ができるようになります。

また、最近はナスの他にも露地野菜にも取り組むようになってきましたが、色々な品目を栽培し、常に新しいことにチャレンジしていきたいです。



Good 成功のためのポイント

我が目で見て、自分の耳で聞く。自分自身で動いて情報を収集し勉強することが大切です。あと、体は鍛えておいた方がいいかも。体力を使いますので。